

## 2.マインドセット

### ユニークネス

ビジネスで成功するには、  
いかに自分を強く打ち出せるか？という話。

マインドセットはビジネスだけじゃない。

TEDの中で、  
「優れたリーダーは、why→how→whatの順で語る。」（サイモン・シネック）

ほとんどの人は逆で語る。

「何をやったら成功できるか？」  
「なにをしたらうまくいくか？」  
とか。

「最先端の電子レンジを作りました。」

その後で、  
「どのような過程で」というhowになる。

whyはほとんど語らない。

ユニーク性は、  
whatやhowにはない。

howとかwhatには再現性がある。

レシピさえあれば、その電子レンジは誰でも作れる。

家電メーカーは、  
どうやって安く作るか、何を作るかばかり考えていたから、  
落ちぶれてしまった。

メイドインイタリアは、

国策でユニークネスで勝負するというのがある。

ユニークネスには再現性がない。  
日本が真似してもできない。似たのは作れるけど。

再現性がないのはアートになってしまう。  
でも、再現性は全てじゃない。

ビジネスは、  
「アート×サイエンス」  
である。

再現性のジレンマ。

再現性がなかったら一回きりで、  
あればあればで価値がなくなってくる。

そこにユニークネスがあれば、  
再現性が損なわれなくなる。

香水と同じ。  
同じ匂いでもつける人で変わってくる。

本当の価値はユニークネスにある。

再現性によって成功するわけではない。

表現を助けるのがサイエンス。

そう考えて、  
「誰が」が大事になるということ。

whyというのは、  
「その人の最も深い部分」が出てくる。

リーズンワイ

→人は理由がなければ、信用しないやっつ。

本当は、

whyを語っていくことで、その人の個性が出てくるから。

whyを言うことによって、

主張に必然性を持たせることができる。

マインドセットとは

マインドセットとは、その人の最も深い部分に存在している。

whyを語ると、その人のどういうマインドセットで生きているか透けて出てくる。

リーズンワイを語っても売れない人は、

マインドセットが透けて見えて、やべえなと思われている。

つまり、頭で考えて、スローガンのように唱えても意味がない。

最も深い部分とは、「無意識」と言われる部分。

意識できないところをどうやって変えていくか？

マインドセットとは、

「生き方そのものであり、それを言語化したもの」

である。

生き方としてのマインドセット

マインドセットは、その人の生き方を言語化したもの。

Aさんのどこを判断して生き方を見るか？

人間の何気ない行動は嘘をつかない、言葉は嘘をつく。

何気ない行動は習慣と呼び、  
99%は習慣である。

習慣に従って、判断している。

つまり、  
「生き方=習慣の総体」  
である。

ヨーロッパは、  
人の持ち物で人を判断する。

よく手入れされている必要がある。

ヨーロッパは、戦争ばっかしているから、  
誰がまともな人を見抜く必要がある。

世界に通用するマインドセットを搭載する必要がある。

初めてバク転をする時、どうするか？

「こういうことなんだ。」と感覚として、取り入れる。

今できない動きは一生出来ない。

正しい動きをまず入れる必要がある。

その回路を取り入れる必要がある。

やったことないことは考えても一生出来ない。

頭と腑に落ちてるは違う。

マインドセットは生き方に反映されないと分からない。

## 自分を再教育する

どうせだったら痛くならない体にした方がいい。

日常の動きがおかしい。

間違った運動をしていると、逆に問題は悪化する。

今できない動きは、  
そのまま何万回やっても一生できるようにならない。

「正しい動き」を再教育していく必要がある。

人間のほとんどは、呼吸が間違っている。

運動に関しては、呼吸。  
生き方に関しては、マインドセットがおかしい。

習慣化されていないことは、一生やっても出来ない。  
一回正しいことがわかれば、習慣化される。

習慣は結果であり、原因がマインドセット。

「適切な」マインドセットに従った行動を習慣化する。

「適切な」とは？

「成功者のマインドセット」とはどういうものなのか？

そのマインドセットが違うから、成功が違う。

成功とは？

成功=幸福

心理学の世界では、  
「幸福=快楽×意味×没頭」（セリグマン）  
と定義されている。

大事なものは、  
3つが掛け算であるということ。

どこかの項が0になれば、幸福はゼロになる。

（3つの項をそれぞれ上げていくような=適切な）マインドセットを設定して再教育する。

習慣化されないマインドセットは意味がない。

ノウハウなどのhowやwhatはすぐにできるし、やり直しが効く。  
マインドセットも習慣を1つ作るのが大変。

最初から適切なマインドセットをしないといけない。  
しかも、間違えば、アンインストールできない。

自分でマインドセットをアップデートできるようにならないといけない。

自分でアップデートできないと、  
真似するしかできないし、失敗した時にめんどくさいし、  
失敗したかどうかそもそも分からない。

理念とはある種、成功の定義に近いかどうか。

質問1：習慣じゃない1%の行動は何を指すか？

新しいことにチャレンジしている習慣。  
未知の世界に行くことは習慣からは出てこない。

「違う歩き方をする」は、習慣から出てこない。

無意識の行動の連続である習慣を見抜くことはできないが、逆算して、その結果現象化している生き方が自分の成功の定義に当てはまっているかどうか、そこを考えることで仮説が立てられ、再教育することができる。

## 質問2：食べ方、味覚の繊細さで人を見る

ピーマンで嫌いでは人を判断しない。  
でも、このピーマンの違いと違いがわかるとかでは人を見る。

## マインドセット7選

### 1.より根本的なものを求める

薄っぺらいのは表面の話が出てくる。  
深みがない。なぜが足りない。

知識が多いけど、それで？って人は薄い。

### 2.やればできる子

「なぜできないんだ？」じゃなくて、  
「なぜやらないんだ？やれば出来るのに。」ってこと。

これは余裕に繋がる。

### 3.雨が降っても自分のせい

自分に意識が100%向いている。

「浮気された。」ではなく、「浮気させた。」ってマインドセット。

そういう風に、  
自分で思わないといけない。

#### 4.みんなを驚かせてやろう

人は満足したお店ではなく、  
びっくりしたお店に通う。

満足させようではなく、驚かせよう。

完璧を求める気持ちは、人間の価値に関わってくる。  
妥協は一切ダメ、どこまででもやる。

#### 5.大衆は常に間違う

自分も大衆であることは大前提。  
大衆が自分の意見と同じなら危機感を持った方がいい。

次の時代には理解できない存在が必要。

#### 6.できることにフォーカスし、出来ないことは余力で

出来ないことは何万回やっても出来ない。  
まずは、「できる！」っていう回路を作らないといけない。

初めてのことは出来ない。

#### 7.絶望を歓迎する

絶望の後にしか希望は来ない。

希望は感情の中で特殊な感情。

シンプルに、  
辛い方を選ぶってこと。

辛い方は絶望する。

大衆は楽をする。  
大衆は間違う。

質問：Goサインはどこか？

自分の中でその感覚はある。

みんなは驚くけど、納得できない時は出さない。